



新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能および変更された機能に関する情報, 1 ページ](#)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、このマニュアルの新機能および変更された機能を要約し、各機能がサポートされているリリースを示します。ご使用のソフトウェアリリースで、本書で説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、<https://tools.cisco.com/bugsearch/> の Bug Search Tool およびご使用のソフトウェアリリースのリリース ノートを参照してください。

表 1: *FabricPath* の新機能と変更された機能

機能	説明	変更されたリリース
vPC+ と vPC 間の設定	警告プロンプトメッセージが変更され、すべての vPC を削除して再設定する要件が追加されました。	6.2(10)
HSRP エニーキャスト	完全な VLAN 範囲を再入力せずに既存の VLAN 範囲 (HSRP エニーキャスト バンドル用) に対して VLAN を追加または削除できる機能が追加されました。	6.2(10)
FabricPath タイマー	linkup-delay always オプションが追加されました。	6.2(2)

機能	説明	変更されたリリース
ユニキャストおよびマルチキャスト パケット用の TTL	ユニキャストおよびマルチキャスト パケット用の TTL が追加されました。	6.2(2)
FabricPath でのユニキャスト スタティック ルート	ユニキャスト スタティック ルートのサポートが追加されました。	6.2(2)
FabricPath レイヤ 2 IS-IS の詳細 パラメータのグローバル設定	VLAN プルーニングのサポートが追加されました。	6.2(2)
FabricPath レイヤ 2 IS-IS の詳細 パラメータのグローバル設定	オーバーロードビットのサポートが追加されました。	6.2(2)
FabricPath レイヤ 2 IS-IS の詳細 パラメータ	ルートマップ再配布およびメッシュ グループのサポートが追加されました。	6.2(2)
複数のトポロジ	複数のトポロジを作成する機能のサポートが追加されました。	6.2(2)
プロキシ レイヤ 2 ラーニング	混合シャーシシステムでコアポート ラーニングをディセーブルにするプロキシ レイヤ 2 ラーニングが追加されました。	6.2(2)
MAC プロキシ	FabricPath ネットワークで最大 128,000 個のホストに対応するために、M シリーズ モジュールの MAC アドレステーブルを活用する機能が追加されました。	6.2(2)
エニーキャスト HSRP	スパイン レイヤでの拡張性をサポートするエニーキャスト HSRP バンドルを作成する機能が加わりました。	6.2(2)
244 個を超える vPC+ ポート チャンネルの設定	no port-channel limit コマンドで、244 個を超える vPC+ ポート チャンネルを設定する機能が追加されました。	6.1(3)

機能	説明	変更されたリリース
FEX ポートを伴う vPC+ の設定	fabricpath multicast load-balance コマンドにより、FEX ポートを伴う vPC+ を設定する機能が追加されました。	6.1(3)
エミュレート スイッチに関する FEX サポート	FEX を使用してスイッチをエミュレートする機能のサポートが追加されました。	6.1(2)
コア ポート ラーニング	F2 カード上の VPC+ を伴う FEX のフォワーディングをサポートするためにコア ポート ラーニングが導入されました。	6.1(1)
ポート チャネルを使ったロード バランシング	F2 モジュールをサポートするロード バランシングが導入されました。	6.0(1)
混合シャーシの新しいデフォルトの MAC アドレス ラーニング 方式	F シリーズおよび M シリーズ モジュールを含むシャーシでの新しいデフォルトの MAC アドレス ラーニング方式が作成されました。	5.2(1)

